

② 文京区のごみの現状とごみ処理の課題

それではまず、文京区のごみの現状と、ごみ処理の課題についてみていきましょう。

VTR（文京区のごみ現状紹介）

東京23区から発生したごみの量は、ご覧のように現在は、平成元年のピーク時に比べ40%ほど減少していますが、まだまだごみ減量化に向けての課題は数多く残っています。

文京区の場合、私たちが出したごみを処分する清掃工場がありません。そのため、区内から排出されたごみは、他の区にある工場に搬入され、焼却処分された後、その焼却灰のほとんどは東京湾内の最終処分場に運ばれ埋められています。

その最終処分場ですが、今後使用できるスペースが限界に近づいてきております。残された貴重な処分場を一日でも長く使用するためにごみの減量とリサイクル推進が求められているのです。

文京区には医療機関や学校も多く、オフィスビルを含めるとおよそ650の事業用建築物があり、文京区の年間に排出される事業系ごみは全体の6割を占めているのです。この結果からも、文京区では各事業所の皆さんと協力し、ごみの減量と再利用の促進をより一層進めていきたいと考えています。